

～調べたことをまとめて、自分の言葉で発表しよう～

単
元
名

「昔の道具と人々の暮らし」

教科書出版社名（ 日本文教出版 ）

○ 小学校（ 3 ）年 教科等（ 社会 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

・資料から必要な情報を見つけ、図や文章にまとめて発表する力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・自分が調べたい材料が選べるように、公立図書館から関係する本の団体貸し出しを受ける。
- ・さまざまな種類の本を用意し、自分で必要なものを調べることができるようにする。

○ 学習の展開（全8時間）

| | |
|-----|--|
| 第1次 | <ul style="list-style-type: none">・ポスターを見て、昔の道具を知り、今の道具との違いを見つける。・「歴史館いずみさの」（市立資料館）に行き、昔の道具に実際に触れてみる。 |
| 第2次 | <ul style="list-style-type: none">・昔の道具について調べたいものを見つける。・資料の見つけ方を勉強する。・図書資料を活用し、昔の道具について調べる。 |
| 第3次 | <ul style="list-style-type: none">・昔の道具について調べたものを図や文章にまとめる。・自分がまとめたものをグループで発表しあう。 |



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

| | |
|---------------|--|
| ① 成果 | ・調べたいことを見つけてから図書館に行くことで、どんなときに図書館を活用したらよいか理解できた。 ・目次や索引の使い方を確認したことにより、それらを上手に用いて情報を適切に見つけることができる児童がみられた。 ・興味を持って取り組むため、実際に昔の道具に触れる機会を導入に設定することで、その後の調べ学習への意欲が高まった。 |
| ② 課題 | ・文章に記述されている用語や言葉の意味について、その読み方や意味を調べることに時間がかかった。 ・普段読書に親しんでいる児童とそうでない児童とで、初めて読む図書の読みの速さや文章内容の理解力に差が見られた。 |
| ③ 児童の感想・ふりかえり | ・「たらい」は日本のものだと思っていたのに、実は外国から来たものだと言ったと図書館の本を読んだら分かった。 ・年表を見て、「洗濯板」から「洗濯機」へどのように進化してきたのかを理解することができた。 ・電話の進化を知ることができた。 ・昔の道具は今のものに比べて使いにくいことがわかった。 ・授業で調べていない道具も、もっと調べたくなった。 |

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

| |
|--|
| ・学校図書館にある本だけでは冊数が不十分であったため、公立図書館から団体貸し出しを受けて2人に1冊以上行き渡るようにした。 ・自分で調べたことを全体に発表するという課題を設定することにより、図書資料を意欲的に活用できた。 ・実際に図書館に行き、自分で必要な本を探すことができるよう工夫した。 ・本を見て、必要な情報を年表に書くという活動を取り入れ、本から読み取ったことを学習に活かすことができるように工夫した。 |
|--|